

令和4年度（対象令和3年度）

第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価報告書

ふるさと創生課

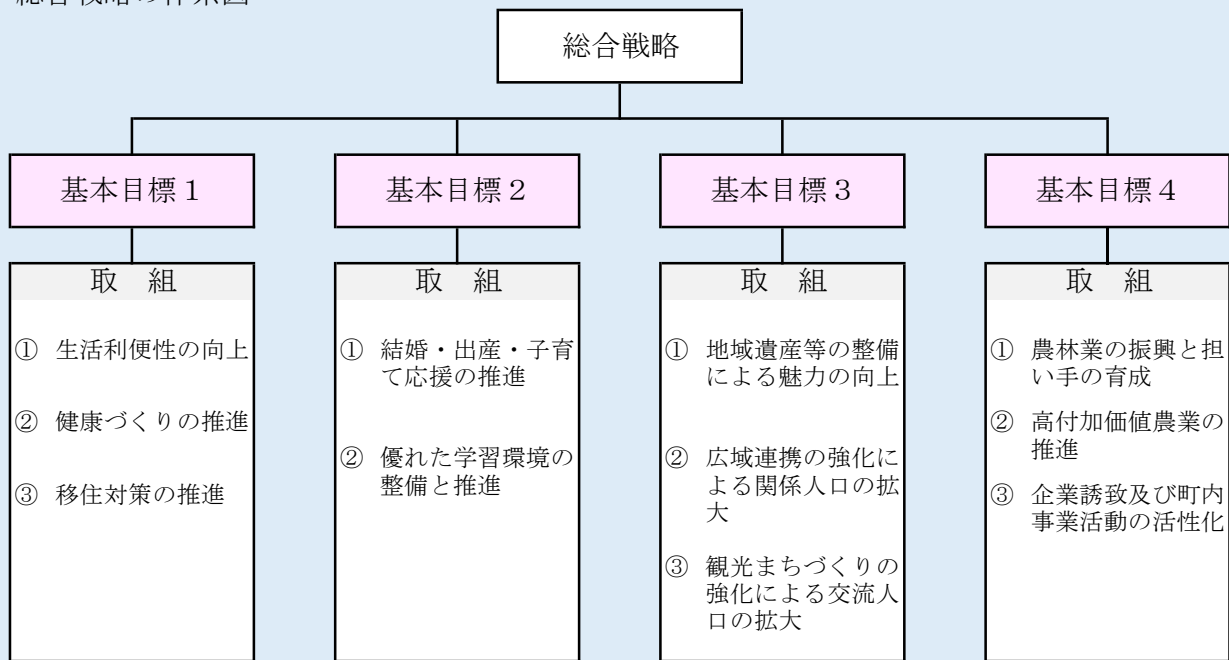
# 森の国松野まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

## 1 趣旨

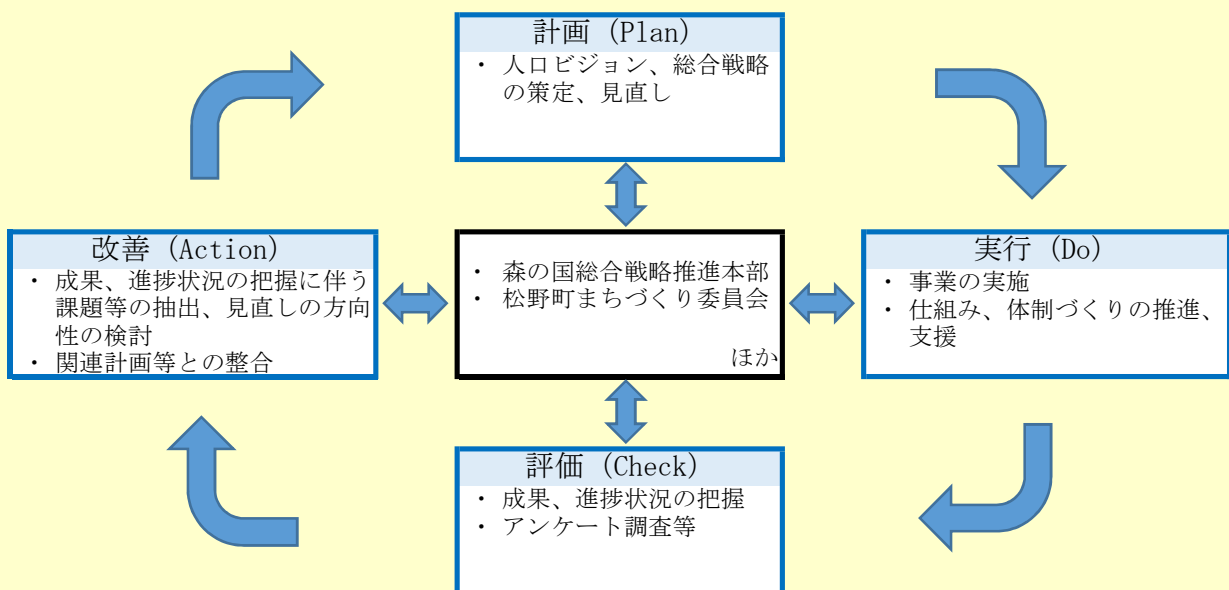
森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）は、「森の国総合戦略本部」、「松野町まちづくり委員会」等と連携を図りながら、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）といった一連のサイクルを確立し、総合戦略を推進することとしております。

具体的には、毎年、施策に対する重要目標達成指標（KGI）や重要業績評価指数（KPI）の達成状況を確認するとともに、松野町まちづくり委員会等へ報告します。

(参考)  
総合戦略の体系図



人口ビジョン、総合戦略のPDCA



## 2 総合戦略の基本目標の進捗状況等

KGI及びKPIの達成状況は、下記のとおり設定した区分表にて評価しております。

### 【評価区分表】

評価区分	進捗率
順調	3年度実績値が目標値の80%以上
概ね順調	3年度実績値が目標値の60%以上80%未満
努力を要する	3年度実績値が目標値の60%未満
実績値なし	年度途中等で実績の把握が不可

総合戦略に記載している基本目標の令和3年度における進捗状況については以下のとおりである。

### 基本目標1：生活環境を向上し、転入者の増加と転出者の抑制を図る

KGI	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
転入者	265人	97人	－人	－人	－人	努力を要する
目標値 410人/年	64.6%	23.7%	－%	－%	－%	

#### ①生活利便性の向上

KPI	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
協働のまちづくりの実施件数	6件	5件	－件	－件	－件	概ね順調
目標値 8件	75.0%	62.5%	－%	－%	－%	
コミュニティバスの利用者数	7,008人	7,485人	－人	－人	－人	概ね順調
目標値 12,000人/年	58.4%	62.4%	－%	－%	－%	

#### ②健康づくりの推進

KPI	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
高齢者福祉に関する満足度 (※住民アンケート調査)	－%	－%	－%	－%	－%	実績値なし
目標値 40.0%	－%	－%	－%	－%	－%	
特定健康診査の受診率	49.6%	51.3%	－%	－%	－%	順調
目標値 60.0%	82.7%	85.5%	－%	－%	－%	

#### ③移住対策の推進

KPI	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
移住希望者の訪問数	7件	13件	－件	－件	－件	概ね順調
目標値 20件/年	35.0%	65.0%	－%	－%	－%	

## 基本目標 2：子育て・教育環境を強化し、子育て世代の増加を図る

K G I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
移住世帯数 目標値 30 世帯 (5 か年間)	14 世帯 233.3 % <small>目標値の5分の1で評価</small>	13 世帯 225.0 % <small>目標値の5分の2で評価</small>	－ 世帯 － % <small>目標値の5分の3で評価</small>	－ 世帯 － % <small>目標値の5分の4で評価</small>	－ 世帯 － %	順調

### ①結婚・出産・子育て応援の推進

K P I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
男女が出会う機会の場の創出件数 目標値 4 件/年	0 件 0.0 %	1 件 25.0 %	－ 件 － %	－ 件 － %	－ 件 － %	努力を要する
出生数 目標値 20 人/年	17 人 85.0 %	19 人 95.0 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	順調

### ②優れた学習環境の整備と推進

K P I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
小中学校の算数・数学・漢字・英語の各種検定受験率 目標値 100 %	51.0 % 51.0 %	67.8 % 67.8 %	－ % － %	－ % － %	－ % － %	概ね順調

## 基本目標 3：本町のブランド化を推進し、関係人口と交流人口を拡大する

K G I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
観光入込客数 目標値 466,000 人/年	308,621 人 66.2 %	294,829 人 63.3 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	概ね順調

### ①地域遺産等の整備による魅力の向上

K P I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
歴史文化施設等への来訪者数 目標値 2,500 人/年	2,143 人 85.7 %	1,798 人 71.9 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	概ね順調

### ②広域連携の強化による関係人口の拡大

K P I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
森の国まつの応援団加入者数 目標値 300 人	280 人 93.3 %	271 人 90.3 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	順調
松野町ふるさと大使任命者数 目標値 30 人	0 人 0.0 %	0 人 0.0 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	努力を要する

### ③観光まちづくりの強化による交流人口の拡大

K P I	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	評価
町内宿泊施設設定員数 目標値 180 人	155 人 86.1 %	155 人 86.1 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	順調
滑床アウトドアセンター万年荘利用者数 目標値 17,000 人/年	14,650 人 86.2 %	12,450 人 73.2 %	－ 人 － %	－ 人 － %	－ 人 － %	概ね順調

## 基本目標4：産業を活性化し、就業人口の増加を図る

K G I	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
従業地による就業者数 目標値 1,250人 (令和6年度)	1,399人 111.9%	令和7年度国勢調査による	－人 －%	－人 －%	－人 －%	実績値なし

※従業地による就業者数：国勢調査における松野町で働いている就業者数

### ①農林業の振興と担い手の育成

K P I	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
新規就農者数 目標値 10人 (5か年間)	0人 0.0% <small>目標値の5分の1で評価</small>	1人 25.0% <small>目標値の5分の2で評価</small>	－人 －% <small>目標値の5分の3で評価</small>	－人 －% <small>目標値の5分の4で評価</small>	－人 －%	努力を要する
耕作放棄地・遊休農地の再生面積 目標値 5ha (5か年間)	0ha 0.0% <small>目標値の5分の1で評価</small>	1ha 50.0% <small>目標値の5分の2で評価</small>	－ha －% <small>目標値の5分の3で評価</small>	－ha －% <small>目標値の5分の4で評価</small>	－ha －%	努力を要する
新規林業従事者数 目標値 2人/年	0人 0.0%	0人 0.0%	－人 －%	－人 －%	－人 －%	努力を要する

### ②高付加価値農業の推進

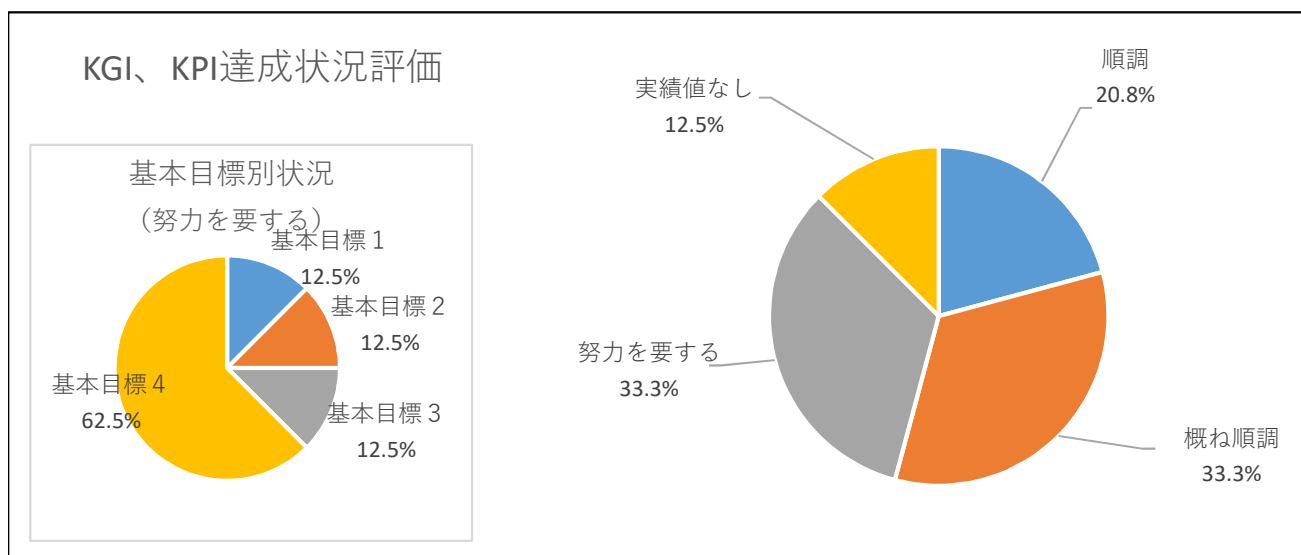
K P I	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
農業産出額 目標値 150千万円	77千万円 51.3%	令和5年公表予定	－千万円 －%	－千万円 －%	－千万円 －%	実績値なし
道の駅での地元農産品及び特産品販売額 目標値 64百万円	51百万円 79.7%	46百万円 71.9%	－百万円 －%	－百万円 －%	－百万円 －%	概ね順調

### ③企業誘致及び町内事業活動の活性化

K P I	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
企業誘致・起業等に向けた相談件数 目標値 5件/年	5件 100.0%	0件 0.0%	－件 －%	－件 －%	－件 －%	努力を要する
新規創業・起業件数 目標値 5件 (5か年間)	1件 100.0% <small>目標値の5分の1で評価</small>	0件 50.0% <small>目標値の5分の2で評価</small>	－件 －% <small>目標値の5分の3で評価</small>	－件 －% <small>目標値の5分の4で評価</small>	－件 －%	努力を要する

【評価のまとめ】

	KGI、KPI	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし
基本目標1	転入者			○	
	協働のまちづくりの実施件数		○		
	コミュニティバスの利用者数		○		
	高齢者福祉に関する満足度				○
	特定健康診査の受診率	○			
	移住希望者の訪問数		○		
基本目標2	移住世帯数	○			
	男女が出会う機会の場の創出件数			○	
	出生数	○			
	小中学校の算数・数学・漢字・英語の各種検定受験率		○		
基本目標3	観光入込み客数		○		
	歴史文化施設等への来訪者数		○		
	森の国まつの応援団加入者数	○			
	松野町ふるさと大使任命者数			○	
	町内宿泊施設定員数	○			
	滑床アウトドアセンター万年荘利用者数		○		
基本目標4	従業地による就業者数				○
	新規就農者数			○	
	耕作放棄地・遊休農地の再生面積			○	
	新規林業従事者数			○	
	農業産出額				○
	道の駅での地元農産品及び特産品販売額		○		
	企業誘致・起業等に向けた相談件数			○	
	新規創業・起業件数			○	
合計		5	8	8	3



令和3年度のKGI、KPIの達成状況評価としては、順調及び概ね順調の合計が全体の54.1%、努力を要するが33.3%となっている。

なお、「努力を要する」の評価割合が大きい基本目標4については、農業・林業の担い手確保等事業が結果に現れていないためであるが、目標値は5年間での設定であり、事業を継続することにより目標達成に繋がるものと考えている。

また、基本目標1、及び2については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にともなう移動の減少、イベント等の中止が影響している。

基本目標1	生活環境を向上し、転入者の増加と転出者の抑制を図る
-------	---------------------------

KGI	R2	R3	R4	R5	R6
転入者 目標値：410人/年	265人	97人	—	—	—

取組	①生活利便性の向上		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針
地域づくり交付金事業	部落が主体となって行う地域課題の解決に向けた取組を支援します。	10部落に交付金を交付し、地域活動の活性化及び防犯対策を目的とした集会所・街路灯修繕等に活用された。	地域が主体となって課題解決のための事業を計画・実施することで、地域の活性化に対する地域住民の意欲が向上されていると思われることから、本事業は継続が適切と考える。
協働のまちづくり事業	住民等が主体となって行う地域資源を活用した取組等を支援します。	地域の環境美化活動等の活動経費として5団体からの申請を受け、助成を行った。	住民が地域のために活動する費用を助成することで、より積極的に活動が行われ、地域内での連携強化にも繋がっていると思われる。 よって、本事業は継続が適切と考えるが、実施件数が目標値以下であることから、区長会等で更に事業周知する必要がある。
地域公共交通対策事業	予土線利用促進対策協議会による持続可能な公共交通の検討やコミュニティバスなどの運行を行います。	宇和島自動車の運行時刻変更にもない4月に時刻表を改正し、全4路線で計4,439便運行した。	宇和島自動車及びJR予土線との連絡を考慮しつつ運行管理することで地域の公共交通の確保が図られている。新型コロナウイルス感染対策の関係もあり、利用者数は目標値以下となっているが、重要な公共交通であることから、事業継続が適切と考える。
高齢者外出支援事業	運転免許証を保有していない高齢者等の通院や買い物などの外出を支援するため、タクシー利用券を交付します。	99件の申請を受け、19,615枚のチケットを交付した。	99件の申請の約9割以上にあたる89件は、申請案内直後の4月、5月には申請されており、高齢者にとって必要とされる事業であると思われることから、本事業継続は適切と考える。
橋りょう・舗装・道路構造物維持管理事業	橋りょう・舗装・道路構造物の維持管理を行います。	橋梁定期点検：65橋 橋梁補修調査設計：5橋 橋梁補修工事：10橋 舗装修繕工事：3路線 道路構造物点検：実績なし	生活道として町道施設を快適に利用していただく上で、施設の点検・補修により、道路施設を維持管理していくことは不可欠であり、本事業は継続が適切と考える。

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
協働のまちづくりの実施件数	11件 (平成30年度)	8件 (令和6年度)	6件	5件	—	—	—
コミュニティバスの利用者数	12,261人/年 (平成30年度)	12,000人/年 (令和6年度)	7,008人	7,485人	—	—	—

取組		②健康づくりの推進	
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針
健康づくり事業	健康増進や心身のリフレッシュのため、ラジオ体操やカラーリングなどを推進します。	軽スポーツの普及として、サテライトボードミニ及びスラックラインを購入し、町内外より参加者を募り、体験会を実施した。 カラーリングは新型コロナウイルスの影響により、中止した。 また、生活支援体制整備事業により、診療所（PT）、社協、地域おこし協力隊と共同して「毎日体操」を考案した。	新型コロナウイルスの影響により、中止した体験会もあったが、町内外より体験会への参加があった。 軽スポーツの体験会を引き続き、企画・運営していきたい。 また、今後は、「毎日体操」の動画作成も予定していることから、集いの場等でラジオ体操だけでなく、「毎日体操」も推進していく。
交流促進センター・社会体育施設改修事業	交流促進センターや社会体育施設等の整備を行い、機能向上を図ります。	社会体育施設では一般修繕を実施するとともに、特にスポーツ交流センターについては、屋根の大規模改修に関する調査を行い次年度への予算化を図った。	社会体育施設のうち、スポーツ交流センターの屋根について改修工事を実施する。引き続き施設の適正な管理・運営、計画的な改修に努めていきたい。
生活習慣病対策事業	健康寿命の延伸のため、生活習慣病予防の相談や支援を行います。	総合健康相談：0人 重点健康相談：20人	新型コロナウイルス感染予防のため、多くの事業を中止したことで、住民と関わる機会も減少した。 事業内容・方法について見直し、再開予定。
地域包括ケア体制推進事業	介護予防、総合相談、生活支援体制の整備、見守りネットワーク、在宅ケア・生きがい活動支援等の深化を図ります。	介護予防普及啓発事業：39回、参加者：334人 地域包括支援センターへの総合相談：364件 生活支援体制整備事業 〔生活支援コーディネーター：1人〕 活動時間：976時間 森の国まつの・ききされネットワーク連絡会：1回 認知症地域支援推進員：5人	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止するものもあった。 基本的な感染症対策を行いながら、引き続き高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケア体制の推進にむけて取り組む。
包括医療推進事業	病診・診診連携、在宅医療等の深化を図ります。	宇和島圏域病院地域連携実務担当者会議参加：1回 鬼北松野地域連携会議参加：1回 訪問診療：120件（R2 197件） 往診：28件（R2 36件）	新型コロナウイルス感染症の影響で中止や欠席することもあったが、令和2年度に宇和島圏域で作成の「入退院時の支援ルール」の見直しを行った。今後、支援ルールを共通理解し活用していく。また引き続き近況報告・事例検討等により連携強化に努める。 認知症初期段階での連携や身寄りがない人への支援方法について圏域で共同設置し、令和4年度開設の「権利擁護センター（ピット）」等とも連携しながら検討・対応していく。
国土強靱化計画推進事業	国土強靱化地域計画を策定し、計画に基づき事業を推進します。	国土強靱化計画に掲げる「起きてはならない最悪の事態」を回避するため、本庁舎の耐震化（建て替え）をはじめとした各種事業を実施し、地域の強靱化に取り組んだ。	あらゆる危機を想定した備えを行う「事前対策」を重視し、安全・安心で持続可能なまちづくりを推進するうえで重要な計画であり、今後も継続して計画に基づく事業の推進を図る必要があると考える。



自主防災会育成事業	自主防災組織における自主的な防災資機材の整備や防災訓練の企画・実施などに対して支援を行います。	事業実績なし。	新型コロナウイルス感染症の影響により、自主防災会の活動が低調で、訓練や資材整備といった活動が実施されなかった。
-----------	---	---------	---

K P I	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者福祉に関する満足度 (※住民アンケート調査)	28.6% (令和元年度)	40.0% (令和5年度)	—	—	—	—	—
特定健康診査の受診率	49.9% (平成27～30年度実績値の平均)	60.0% (令和6年度)	49.60%	51.3%	—	—	—

取組	③移住対策の推進		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針
定住促進住宅整備・改修事業	町営住宅等の整備や住宅建設の奨励措置を実施するほか、リフォーム補助金や移住者住宅改修の支援を行います。	町営住宅等の整備：実績なし	移住施策において、住居の確保は最優先事項となるため、本事業は継続が適当と考える。移住者に対する住居の確保については、住宅の整備のほか、住宅跡地等を活用した宅地分譲等も含め、多面的に検討する必要がある。
お試し移住プログラム推進事業	移住希望者へ地域を知ってもらうため、おためし移住の宿泊費等を助成します。	移住希望者18名に町内を案内し、移住体験を提供した。 18名のうち希望する3名に対して助成を行った。	移住希望者が視察来町することは、移住後の生活等をイメージするための重要な機会になるため、本事業継続は適当と考える。
移住支援コーディネーター設置事業	移住希望者に対して必要な相談や情報提供を行う人材を設置します。	移住支援コーディネーターを休止しているが、職員2名をえひめ移住相談員として登録し、相談や情報提供の他、コロナ禍ではオンラインを活用した移住相談やPR等を行った。	令和3年度は、コロナ禍のため移住フェア等が中止となり、対面での移住相談を実施することができなかったが、オンラインを活用して可能な限り活動を行った。 今後も時勢に合わせた活動を行うことで移住促進に繋げる。
空き家等情報バンク事業	空き家や所有家屋に関する相談や調査を行い、必要に応じて「空き家等情報バンク」につなげる取組を推進するほか、空き家情報を提供します。	空き家所有者からのバンク登録問い合わせが46件あった。 また、入居希望者からの問い合わせが31件あり、うち6件が成約となった。	今後も引き続き、固定資産税通知へのチラシ同封や広報掲載等、バンクの登録数増に努めていく。
森の国まつのおんげ団開催事業	森の国まつのおんげ団（松野町ふるさと大使）のPR活動と連携し、移住情報を希望者へ提供します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、取り組み実績なし。	森の国まつのおんげ団の活動により、県外在住者への情報発信に努め、関係人口の増加を図っていく。
地域おこし協力隊活躍事業	地域おこし協力隊を積極的に導入し、起業、就職及び事業承継等、定住に向けた支援を実施します。	年度中に新たに2名の隊員が着任し、合計7名が農業・観光・企画・教育の各部門で活動した。	隊員が積極的に地域活動に関わっており、地域の活性化に繋がっているため、本事業は継続して実施すべきであると考えます。

K P I	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
移住希望者の訪問数	10件/年 (平成30年度)	20件/年 (令和6年度)	7件	13件	—	—	—

基本目標2	子育て・教育環境を強化し、子育て世代の増加を図る
-------	--------------------------

KGI	R2	R3	R4	R5	R6
移住世帯数 目標値：30世帯/5か年間	14世帯	13世帯	—	—	—

取組		①結婚・出産・子育て応援の推進						
事業名	事業の内容	実績		評価と今後の取組方針				
出会いの場創出事業	体験活動などを通じた男女の出会いの場を創出します。	宇和島圏域定住自立圏共生ビジョンの事業として、婚活イベントを2回計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で1回のみ開催となった。		令和4年度はイベントを2回計画しており、そのうち1回は松野町での開催としている。イベントの会場を町内の事業者と協力しながら、婚活の機運を醸成していきたい。				
結婚・出産お祝い事業	結婚や出産の奨励支援措置を実施します。	結婚祝金：2件 出産祝金：19件		祝金制度により、令和3年度の出生数は横ばいで維持している。 今後も祝金の周知を続け、子育て世帯の転入や出生数増加につなげていく。				
医療費等助成事業	子ども医療費、ひとり親家庭医療費、不妊治療費、任意予防接種費を助成します。	子ども医療費助成件数：3,508件 10,314,191円 ひとり親医療費助成件数：905件 2,072,094円 不妊治療費：0件 任意予防接種 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td>おたふくかぜ：10件</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ：152件</td> </tr> </table>		}	おたふくかぜ：10件	インフルエンザ：152件	子育て世帯への経済的負担軽減が図られている。引き続き、現行の制度において助成事業を継続していく。	
}	おたふくかぜ：10件							
	インフルエンザ：152件							
学校給食費補助事業	保護者の負担軽減を行うため、学校給食費を補助します。	全小中学校児童生徒に対し半額補助を行い、子育て世帯への負担軽減を行った（給食実施回数198回）。 また、食育補助では子ども達の食に対する関心の向上や地域農産物の活用など、食育への理解の促進を図った。		学校給食費の半額補助による、保護者の負担軽減を行うとともに、地元産の食材を活用した地産地消を推進し、児童生徒の食への関心を向上されていると思われることから、本事業は継続が適切と考える。				
保育料等負担軽減事業	保育料の負担軽減と給食費を補助します。	<保育料> 国基準徴集金：8,877,350円 町基準徴集金：2,878,500円 軽減額：5,998,850円 <給食費> 国基準免除者数：29人 町基準免除者数：74人		子育て世帯への経済的負担軽減が図られている。引き続き、現行の制度において補助を継続していく。				
子育て世代包括支援事業	妊婦期から子育て期における母子保健や育児に関する相談や支援を実施します。	母子手帳の交付：13人 妊婦一般検診：延べ197人 乳幼児健診：97.33%		概ね目標どおりの実績を得られており、今後も継続した支援を実施していく。				

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
男女が出会う機会の場の創出件数	3件/年 (令和元年度)	4件/年 (令和6年度)	0件	1件	—	—	—
出生数	8人/年 (令和元年度)	20人/年 (令和6年度)	17人	19人	—	—	—

取組		②優れた学習環境の整備と推進		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
ICT活用推進事業	新時代の学びを支える教育ICT環境の整備と効果的な活用による学習指導の充実を図ります。	1人1台端末の整備により、各校において活用の推進を図った。また、県主導によりパソコンでテスト、ドリル学習などが行える学習支援システムが構築され、本年度、本システムを利用した県学力調査を実施した。	ICTの効果的な活用を推進するとともに、職員研修等を行い、各授業での積極的活用と充実を図りたい。	
国際理解教育推進事業	ALTの複数配置、英語キャンプ・海外語学研修参加補助等により外国語教育の充実を図ります。	ALT2名体制の利点を活かし、保育園児との交流事業や低学年向けの英語活動を実施した。うち1名の任期満了後、入国制限の影響を受け、新規招致者の来日遅れがあり十分な活動ができなかった。 英語キャンプ・海外語学研修については新型コロナウイルスの影響により中止となった。	来日遅れであったALTを4月に招致することができ、低学年向けの英語活動や保育園児との交流活動を実施し、切れ目のない学びの保障の実現を図る。体験活動については、今後の状況を注視しながら、実施を検討していきたい。	
基礎学力定着事業	各種検定受検料の補助、独自の学力調査の実施、教材整備等により学力の定着と向上を図ります。	各種検定受験料の補助を実施した。独自の学力調査や全国的な学力調査から、問題分析及び各校・全町での対策について協議した。	小学校の漢字検定・算数検定の受験率は90%を超えており、積極的な取り組みができていることから事業継続は適当であると考え。令和4年度から小学校英語検定の受験対象を小学校1年生からとし、受験率の向上を目指す。	
「まつの教育」情報発信事業	本町の優れた教育環境を対外的に発信し、本町で子どもの教育をしたい居住者の拡充を図ります。	各校の総合学習の取組や、町内産の木材を使用した生徒の机椅子の整備など、町独自の事業についてU-CATなどの報道機関を活用し発信した。	令和3年度からの学校運営協議会制度を活かし、地域とともにある学校を目指す。学校ホームページでの情報発信はもちろんのこと、新庁舎の掲示スペースに学校だよりを掲示し、児童生徒の様子を発信する。	

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
小中学校の算数・数学・漢字・英語の各種検定受験率	— (令和元年度)	100% (令和6年度)	51.0%	67.8%	—	—	—

基本目標3	本町のブランド化を推進し、関係人口と交流人口を拡大する
-------	-----------------------------

KGI	R2	R3	R4	R5	R6
観光入込み客数 目標値：466,000人/年	308,621人	294,829人	—	—	—

取組	①地域遺産等の整備による魅力の向上			
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
松野町文化財保存活用地域計画策定事業	文化財及びその周辺環境について保存と活用のための基本方針を策定します。	令和2年12月に松野町文化財保存活用地域計画の作成を完了し、文化庁の認定を受けた。	年度当初の計画どおり実行することができた。今後は、本計画に基づいて文化財の適正な保存・活用の促進を図っていく予定である。	
史跡河後森城跡環境整備・活用事業	史跡河後森城跡の景観整備や発掘・調査・整理・活用などを行います。	令和4年3月に風呂ヶ谷ゾーン井戸跡及びその周辺の環境整備工事を完了した。また、令和4年度実施予定の西第十曲輪南部斜面の環境整備工事に伴う発掘調査を実施した。	年度当初の計画どおり実施することができた。今後も史跡河後森城跡の整備・活用の促進を図っていく予定である。	
松野町文化的景観調査・活用事業	文化的景観の調査や活用を図るための活動を行います。	令和4年3月に「目黒の農山村景観」保存活用計画策定事業報告書を刊行した。	年度当初の計画どおり実行することができた。今後は、保存活用計画を策定し、国重要文化的景観の選定申出を行う。	
埋蔵文化財総合活用事業	体験会や展示会等による埋蔵文化財の活用を推進します。	史跡河後森城跡の見学会や町内文化財を題材にした演劇作品制作、文化財の道案内看板の作成等を実施した。また、町内小学生向けの郷土学習素材としても活用した。	当初予定していた国庫補助事業から県費補助事業に切り替えて、埋蔵文化財だけでなく文化財全般を対象として実施した。今後も継続して町内文化財の活用を実施していく。	
芝不器男頭彰事業	不器男忌俳句大会のイベントや俳句の小径などの活用等を図ります。	俳句大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により通常通りの開催に至らず、事前投句者への句集等資料の配布を実施した。 俳句の小径については、句碑の再整備や音声ガイドの設置等を行い、さらなる利活用に供するための環境づくりを実施した。	通常のイベント開催が困難な状況下、可能な範囲での代替措置を行った。今後は、俳句の小径の再活性化も含めて、魅力ある大会運営を検討したい。	
伝統芸能保存継承事業	地域の伝統芸能の保存継承を支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響によって伝統芸能保存団体の活動が実施できず、具体的な支援に至らなかった。	今後の活動状況を注視しながら、必要な支援の方法を検討したい。	

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
歴史文化施設等への来訪者数	1,918人/年 (平成30年度)	2,500人/年 (令和6年度)	2,143人	1,798人	—	—	—

取組		②広域連携の強化による関係人口の拡大		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
森の国まつの応援団開催事業	森の国まつの応援団会員の拡充と会員年齢の低減化（各年齢階層の会員確保）を図ります。 本町の広報活動を協働して行う人の確保・拡充（主に森の国まつの応援団から任命）を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により地域での総会等は開催できなかったが、町広報誌等の配布による情報発信により会員確保に繋げる取り組みを行った。	地域での総会等の実施によるPR活動等により会員確保、拡充を図る。	
ふるさと納税事業	ふるさとを応援するため、寄附してくれた人に対して町内特産品などを返礼します。	令和3年度寄附 492件9,283,000円 6月にポータルサイトの追加（楽天ふるさと納税）や返礼品の種類・写真を見直すなど大幅なリニューアルを行った。 また、事務業務を外部の専門業者に委託することで質の高い運用を行うとともに業務負担の軽減を図った。	全国的なふるさと納税市場拡大及び全体リニューアルにより、過去最高の寄附額となった。今後も市場拡大が予想され、町内の特産品を全国に幅広くPRできる事業としても、本事業の継続は適当と考えられる。	
関係人口創出事業	都市部の若者などが、一定期間地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通して、地域との関わりを深める機会を提供するふるさとワーキングホリデーのほか、豊かな自然やいやしをテーマとした地域資源を活用し、ワーケーション受入態勢を構築します。	愛媛県南予地方局と協力し、ワーケーションのモニターツアーを実施した。また、コロナで縮小型のツアーとなったことを受け、PR動画を撮影し、全国1万店舗のファミリーマートのデジタルサイネージにて放映された。	感染の動向に配慮しつつ、令和4年度も愛媛県と協力しながらワーケーションのモニターツアーを実施し、将来的に持続可能な受入態勢を構築していく。	
全国源流の郷事業	源流を繋がりに関係を深め、姉妹都市や協力連携を目的とした協定等の締結を目指します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、源流サミット及び全国源流の郷協議会総会は中止となった。	全国の構成市町と交流を行うことにより、地域が抱える課題や解決策の情報共有ができ、町のPRにもなるため、本事業は継続が適当と考えられる。	

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
森の国まつの応援団加入者数	280人 (令和元年度)	300人 (令和6年度)	280人	271人	—	—	—
松野町ふるさと大使任命者数	0人 (令和元年度)	30人 (令和6年度)	0人	0人	—	—	—

取組		③観光まちづくりの強化による交流人口の拡大		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム活動を支援します。	森の国グリーンツーリズムクラブと連携し、修学旅行及び町イベントでの宿泊受入事業や視察研修会などの実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け実施できなかった。	新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら、滞在・体験型の受入事業の推進を図る。また、観光宿泊事業者応援事業として、「森の国松野町で遊ぼう、泊まろうキャンペーン」を実施し、農家民宿の観光誘客に努める。	
グリーンツーリズムキックオフ事業	農家民宿等の立ち上げを支援します。	実績なし。	関係機関との連携のもと、制度の内容周知による新たな農家民宿等の立ち上げに努める。	
アウトドア体験事業	アウトドアイベントの開催を支援します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントはすべて開催できなかった。	シャワートレッキングやロープ木登りなどアウトドア体験を松野まちづくり青年会議等の団体と連携により事業実施に努める。	
森の国観光交流・誘客促進事業	観光交流や誘客促進に繋がるイベントの実施を支援します。	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を確認しながら実施した1泊2日の移住体験ツアーについて補助金を支出した。	松野町ならではの魅力を国内外に情報発信し、交流人口の拡大を図るとともに観光客数の増加を目指す。	
観光施設等整備事業	町内の観光施設等の整備を行い、機能拡充を行います。	森の国ぼっぼ温泉をはじめ、虹の森公園等の整備を行った。	リニューアル工事の実施による機能拡充を図っていく。	
地域資源を活用した広域観光振興事業	県や近隣市町と連携し、広域連携イベントを実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントはすべて開催できなかった。	予土県境という地域資源を活かすため、戦国武者伝走や予土うまいもの合戦などのイベント継続は適当と考える。	
自転車新文化推進事業	交流人口等を増加させるため、サイクリングのイベントを実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、愛媛サイクリングの日に合わせて実施した、松野四万十サイクリングのみの実施となった。	サイクリングを活用した観光振興や地域活性化のため、松野四万十バイクレース(MSBR)のほか、県や近隣市町と連携して実施する新たな散走の取り組みにより交流人口の増加を図る。また、イーバイクの活用による広域的な観光に繋げていく。	
愛野球博開催事業	交流人口等を増加させるため、県と市町が連携してスポーツ「野球」をテーマにしたイベントを実施します。	軽トラ市にて、マンダリンパイレーツの選手から投球の指導を得ながら「ストラックアウトチャレンジ」等を行える場を設け、野球への親しみを感じてもらうとともに、オールスターゲーム愛媛県開催の周知を行った。	本事業は、子どもも参加しての交流人口拡大イベントで有り、将来に向けて有意義な事業であるため、今後も継続することが適当と考える。	

K P I	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
町内宿泊施設定員数	128人 (令和元年度)	180人 (令和6年度)	155人	155人	—	—	—
滑床アウトドアセンター万年荘利用者数	15,210人/年 (令和元年度)	17,000人/年 (令和6年度)	14,650人	12,450人	—	—	—

基本目標4	産業を活性化し、就業人口の増加を図る
-------	--------------------

KGI	R2	R3	R4	R5	R6
従業地による就業者数 目標値：1,250人(令和6年度)	1,399人	令和7年度国勢調査による	—	—	—

取組		①農林業の振興と担い手の育成			
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針		
人・農地プラン実質化推進事業	人・農地プランの実質化を通じて農地の集約化に関する将来方針を作成し、実のある農地と担い手の将来の設計図を描きます。	令和2年度に実質化したプランの実現に向け、担い手の組織化や農地整備事業の活用を検討等、集落ごとに状況を踏まえた支援を行った。	各プランで定めた農地と担い手の将来方針を真に実のあるものにするため、集落ごとの状況を踏まえ関係機関と連携しながら、担い手の組織化や農地整備等を支援していく。また、農業委員会等と連携し、プランの法定化への対応を実施していく。		
新規就農・担い手育成対策事業	地域の農業の担い手を確保するため、町内外の多様な担い手を発掘するとともに、農林公社等で研修を受け、就農を目指す研修生に対する支援を行います。	就農相談会への参加やインターネット等で募集活動を実施した。希望者へのオンライン面談や視察の受け入れ等に対応し、研修生1名の確保につながった。(受け入れは令和4年4月から)	地域農業の担い手を確保するため、引き続き体制整備や施設整備を実施しながら、対面及びオンラインによる研修生募集活動を支援する。今後も、地域で持続可能な力強い農業の実現に向け、事業を推進していく。		
森林経営推進事業	森林経営計画に基づいた適正な森林整備を図り、新規林業従事者の確保に努めます。	令和2年度意向調査を実施した奥野川地区において、令和3年度に事業の推進を図った。事業内容にあつては、2.71haの切捨間伐の実施、15.76haの搬出間伐事業の計画を立てることができた。また、令和3年度は、延野々地区の意向調査を実施し、経営管理権集積計画を作成し、公告・縦覧を行った。	令和3年度に公告した山林整備を行い、令和4年度では富岡地区の意向調査を実施する。「南予森林アカデミー」が令和4年度に開講した。ガイダンスへの職員参加や高校等へ訪問し、アカデミー等に関する説明を行い、地域の担い手及び研修生の確保を目指す。		

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
新規就農者数	2人/年 (平成30年度)	10人/5年 (令和2～6年度)	0人	1人	—	—	—
耕作放棄地・遊休農地の再生面積	3.0ha (H27～R1年度累計)	5ha/5年 (令和6年度)	0ha	1ha	—	—	—
新規林業従事者数	0人/年 (平成30年度)	2人/年 (令和6年度)	0人	0人	—	—	—

取組		②高付加価値農業の推進		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
新規作物・加工用果実等栽培支援事業	新規作物の実証事業や調査研究を行い、農家普及を目指すとともに、加工用果実の栽培技術の向上、面積拡大を支援します。	高収益が見込めるキウイフルーツ花粉事業や源吉兆庵との原材料供給協定に基づく加工用果実の栽培を実施した。	キウイフルーツ花粉事業については、初収穫に向け、研修や実証事業を通じて、収穫や精製の手順及び体制整備を支援した。今後も有効な財源を活用して機械類の整備等を実施する予定である。 加工用果実の栽培については、地域おこし協力隊OBを中心に加工桃の栽培を実施し、源吉兆庵への原材料供給を実施した。今後も、安定供給が可能となるよう事業を継続していく。	
特産品振興事業	新たな特産品の開発や販路拡大、PR活動などを通じて、町特産品の振興及び農産物の高付加価値化による農家所得の向上に取り組みます。	特産品販売促進協議会が中心となり、県内外で特産品振興に努めた。また、withコロナ時代に合わせ「道の駅虹の森公園まつ」が窓口となり、町特産品のECサイトを開設した。	新型コロナウイルスの影響で催事の中止や開催方法が変更となったが、感染拡大に留意しながら、PR活動、販路開拓支援等を行ったほか、新たな販売窓口を整備した。特産品の振興は地域の活性化に不可欠であり、今後もPR活動や販路開拓支援等をおこなっていく。	
特産品伝承・販売促進事業	松野町の特産品を次世代につなげるため、その魅力を発信するとともに生産者の事業継続・事業承継を支援します。	関係機関との連携により、小中学校での郷土料理教室や高校生に対する農産物の栽培研修を実施した。町特産品のPR、周知を通じて魅力発信に努めたほか、県内外での販売活動を実施した。また、食品営業許可制度への対応が求められており、現地指導等を通じて、生産者の支援を行った。	新型コロナウイルスの影響のなか、松野の味をつないでいくため、様々な機会を用いて情報発信をおこなっているが、生産者の多くが高齢となり、事業継続・継承に対する支援が望まれることから、今後も引き続き事業を推進していく。	

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
農業産出額	134千万円 (平成29年度)	150千万円 (令和6年度)	77千万円	令和5年 公表予定	—	—	—
道の駅での地元農産品及び特産品販売額	43百万円 (平成30年度)	64百万円 (令和6年度)	51百万円	46百万円	—	—	—



取組		③企業誘致及び町内事業活動の活性化		
事業名	事業の内容	実績	評価と今後の取組方針	
特定地域づくり事業	地域全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出するとともに、地域の担い手を確保し、地域経済の活性化を図る特定地域づくり事業協同組合を支援します。	組合設立に向けて9月に事務局職員を雇用し、関係各機関と調整のうえ、3月に特定地域づくり事業を行う「森の国まつの事業協同組合」を設立した。	移住・定住を促進し、地域の仕事を生み出す事業として重要であることから、令和4年度から派遣を開始し、将来的に継続していくこととする。	
企業誘致促進事業	誘致や留置活動に必要な支援措置を充実し、関係機関と連携して誘致や留置活動を推進します。	企業立地奨励金、雇用奨励金ともに交付実績なし。	県企業立地課と連携しながら企業訪問、情報発信等を行い、企業誘致、留置対策の事業継続を推進する。	
経営・起業金融支援事業	経営や起業を支援します。	令和2年度に、制度の円滑な運用及び中小企業における金融の円滑化を図るため預託金を増額し、振興資金の借り入れに備えたが、新型コロナウイルス関係の貸付の利用が多かった。	宇和島市、鬼北町、愛南町と連携した創業支援計画の策定を継続し、経営や起業の事業支援を図っていく。	
ふるさと納税活用事業	ふるさと納税制度の活用により、町内観光施設等を整備し機能拡充を図るほか、本町で地域資源等を活用した起業希望者に支援等を実施します。	基金に積み立てた寄附金を以下の事業に活用した。 ・子どもたちに「ひのき」の机・椅子を！事業 事業費3,712,958円 充当額3,712,958円 ・虹の森公園おさかな館カワウソ舎等整備事業 事業費13,901,760円 充当額4,901,760円	特定の事業にふるさと納税を活用することで町のPRにもなり、児童の学習環境の向上やまちづくりの活性化につながった。令和4年度からは活用対象事業を増やし、更なるふるさと納税制度の活用が見込まれるため、本事業継続は適当と判断する。	
地域通貨流通促進事業	地域内で消費できる地域通貨や商品券などを活用した事業を実施します。	事業実績なし。	地域通貨の流通は、地元の消費を喚起し、経済の循環を図ることによって、雇用の創出へとつながることが出来るため、今後取組を実施していく。	
事業承継先紹介支援官民連携事業	自治体や金融機関、商工会などが連携し、事業承継を希望する経営者に対して必要な情報を提供し支援します。	平成28年度において、南予9市町による愛媛県南予地域官民連携事業承継推進事業計画を策定し、情報共有を図っている。	地域の経済基盤の維持、就業場所の確保の観点から、本事業継続は適当と考える。	

KPI	基準値	目標値	R2	R3	R4	R5	R6
企業誘致・起業等に向けた相談件数	0件/年 (平成30年度)	5件/年 (令和6年度)	5件	0件	—	—	—
新規創業・起業件数	0件/年 (令和元年度)	5件/5年 (令和6年度)	1件	0件	—	—	—